

第21回 株式会社エフエム真岡 放送番組審議会議事録

1 開催概要

審議委員及び事務局が年度末対応の為、書類による審議を実施。令和7年10月6日に審議資料を配布、令和7年10月24日までに番組に対する意見等について返信を求めた結果、審議委員全5名から電子メールまたはFAXにて回答があった。

■出席委員(敬称略)

加藤 敦美(真岡商工会議所 専務理事)
市村 有史(真岡市 総合政策部 秘書広報課 係長)
篠崎 勝美(株式会社シノザキ楽器 代表取締役)
宇賀神 久子(株式会社アキヤマ観光 取締役)
上澤 宏行(鶴見建設株式会社 代表取締役)

2 議題

放送番組の審議

3 審議内容

① 審議番組『イブニングもおか4:00』

放送日時：令和7年9月4日(木) 16:00～16:55

出 演：宇都宮アート&スポーツ専門学校

講師・佐藤望(元レディオベリー/アナウンサー)

学生・声優アナウンス科1年生7名

「ラジオドラマ『夏の影』」

FMもおかパーソナリティ：佐野 久恵

(委員) 今回の宇都宮アート&スポーツ専門学校の学生さんは皆さんお話が上手でした。

最初の自己紹介の時は緊張していた方もいましたが、だんだんとパーソナリティの佐野さんのフレンドリーは明るい対応に緊張も和らいだようです。佐野さんも同世代のお子様がいるので、夢にむかって頑張る若者たちはお嬢さんとリンクできたと思います。学生の本音や希望を引き出した展開はさすがです。さて、今回のレディオベリーの佐藤望さんは本当に優しくて安定したお声でとてもいいですね。笑いをとったり間もよく聞きやすかったです。ラジオドラマの『夏の影』も本格的で効果音もすばらしい。レベルがたかいですね。学生が多かったので、前半後半にわけたのはよかったです。声を職業にしたい方はもちろん、多方面にこれから活躍するかたがこの中から誕生するのを願います。全体的に気楽にきけて楽しかったです。あっという間に感じました。

(委員) 宇都宮アート&スポーツ専門学校の学生の皆さんにとって、佐藤望アナウンサーがおっしゃられたように、声だけで表現する・伝える必要があるラジオへの出演・ラジオドラマの取り組みは非常に良い学びの機会だったのではないでしょうか。なによりも明るく楽しそうに取り組んでいる様子も伝わって好感が持てました。ラジオ全体も明るい雰囲気になっていると思います。FMもおかにとっても、ラジオドラマは初めての試みということで、お互いに良い効果が期待できると思います。実際、ラジオドラマも拝聴し、ストーリーもラジオドラマならではのひねりもあって楽しく聞かせていただきました。明るいスタジオの雰囲気と違って、少し悲しいお話しでしたが選

曲やSEもとてもよかったです。ぜひ、今後もコラボレーションして連続ドラマなどにも挑戦していただきたいと思います。そして、できれば真岡にゆかりがある、市内のスポット、イベント、人物などを含んだストーリーになるとなお嬉しいですね。今後も、さまざま取り組みをしていただき地域密着型のメディアとしてより一層市民への浸透を図っていただきたいと思います。市内外からでも、たくさんの方にご出演いただくことが普及につながると思いますので引き続きよろしくお願ひいたします。

(委員) 専門学校生に経験の場としてFMもおかを活用してもらう取り組みは非常に良いと感じましたただ、学校自体が市外に所在することを踏まえると、可能であれば市内出身の在学生を一人でも招いてほしかったようにも思います。ラジオドラマパートは、番組の最後ではなく中盤に放送し、それを受けてスタジオでアフタートークという流れの方が自然だったように感じます。(番組内のやりとりを聞く限りでは、ラジオドラマを生放送直前に収録したため編集が間に合わなかったという制作上の都合は理解できます)学校や学生自身についての話もよかったです、ラジオドラマそのものについて、放送前に簡単な紹介やあらすじが、もう少しあれば聞き手としてもより作品を理解しやすくなつたと思います。

(委員) 同校非常勤講師であるレディオベリーの佐藤アナウンサーの安定感と学生たちの自由で明るい雰囲気により、安心して番組を聞くことができた。特に、番組の生放送中にラジオドラマの収録を同時進行で行うなど、かつてない企画により、現場の緊張感と臨場感が伝わってきて、非常に興味深く新鮮であった。またラジオドラマでは、学生の熱のこもった迫真の演技により、徐々にストーリーに引き込まれ意外な展開のラストシーンにはとても感動した。エンディング曲もドラマにマッチし、余韻に浸る効果があって素晴らしい選曲だったと思う。今回は、番組の生放送中にラジオドラマの収録を同時進行で行う企画で、出演の学生をはじめ、FMもおかのスタッフも大変だったと思いますが、放送時間を急遽延長し、ラジオドラマを最後まで中継したことは、特筆に値すべきことと高く評価致します。

(委員) 若い学生たちの取り組みとして、またFMもおかのスタッフの新たな試みとして、非常に興味深く感じ、感動しました。非常勤講師の佐藤望アナウンサーの指導力もあると思いますが、きちんとしたラジオドラマとして、聞いていて物語に引き込まれて行きました。なかなか短時間でスムースにできるものではないと思いますが、収録し、その場で編集し、時間内に取りまとめたことは凄いなと思いました。地域のコミュニティFMとして徐々に力がついてきたのかなとひしひしと感じました。今後も新しい試みに挑戦し、なくてはならない放送局に成長することを祈っております。

② 放送番組審議会の次回開催について

(事務局) 次回の審議会は、令和8年1月13日(火)、13:30～
場所は、エフエム真岡会議室か市役所の会議室をお借りして開催予定。
(委員) 審議委員全員にe-mailにて連絡済。

4 審議機関の答申又は意見の概要の公表

- ① FMもおかの放送内で告知(令和7年10月27日)
- ② 当該事項を記載した書面を事務所へ据置
- ③ 自社ホームページに掲載(<https://www.fm-moka874.co.jp/>)